



▲施政方針を述べる中田市長

# 施政方針

～軸のぶれない年～

## 自立への挑戦

第37回市議会定例会が2月28日に招集され、中田勝久市長が平成23年度施政方針と予算案を提案しました。その概要をお知らせします。

なお、施政方針の全文と予算の詳細は、南あわじ市ホームページからご覧いただけます。(予算と主要事業の記事は6～9頁)

菅内閣は、本年を「平成の開国元年」ととらえ、「新成長戦略」の着実かつ早急な実現を図り、一括交付金制度の拡充や国の出先機関の原則廃止など「地域主権改革」を積極的に推進すると閣議決定されました。地域主権改革においては、広域連合の動きが活発化し、井戸知事が代表となつて「関西広域連合」を強力に推進されようとしております。

開国元年が示す環太平洋パートナーシップ(TPP)協定をはじめとする貿易自由化の動きは、日本農業にとつて極めて大きな影響が予想され、南あわじ市においても、酪農、肉用牛を中心に大打撃を受けることは必至であります。農林水産省の試算では、米の生産は9割減少、食料自給率が14%に低下するとしています。

混乱する政治・経済の状況下において、市長、職員が公僕として確固たる信念を持ち、自らを高め、地域や社会状況を分析把握しながら将来に布石の打てる施策展開を図つてまいります。合併後7年目を迎える今年は、「軸のぶれない年」と位置づけ、「自立への挑戦」を継続してまいります。

### 市民力、地域力発揮への挑戦

TPPに代表される自由貿易の議論は、農水産業を主力とする南あわじ市にとって非常に憂慮すべきことです。農政改革に対する要請を繰り返しながらも、持続可能な農漁業を確立するためには足腰の強い体質に変革しなければなりません。

ん。生産力及び生産性の向上、所得確保、販売・流通対策など、各分野を見直し、生産者や生産者団体、関係機関が一丸となった取り組みを行い、地域力を発揮できるような挑戦してまいります。

また、新庁舎建設の推進と並行して、分庁舎跡地利用や市民交流センターの設置に向け全力を上げます。特に市民交流センターは、少子高齢化・人口減少が急激に進む中、地域力・市民力を発揮し、助け合い、住みよい街にするための拠点施設として不可欠です。地域の特徴や個性を尊重し、自主的活動を奨励しながら強い絆で結ばれた地域づくりに挑戦してまいります。

### 安心で安全なまちづくりへの挑戦

市民の安心安全は、産業の活性化と雇用の確保、教育や福祉医療と併せて、防災対策や住みよいまちづくりなど数多くの分野を充実しなければなりません。特に、人口減少・少子高齢化に対応した社会の仕組みづくりは、私たち世代に課せられた大きな責務であり、将来を担う子どもたちのための少子化対策や命を守る防災対策に力を注いでまいります。道路など生活基盤の整備とともに、高齢者や生活弱者に対応した施策を着実に実施し、安心で安全なまちづくりを進めてまいります。

また、産業振興を図るため基盤整備を推し進め、堅実な生産と南あわじ市の豊富な素材・人材を十分に生かしたマーケティングや6次産業化を促進し

## コアラ4頭を公開

西豪州から寄贈

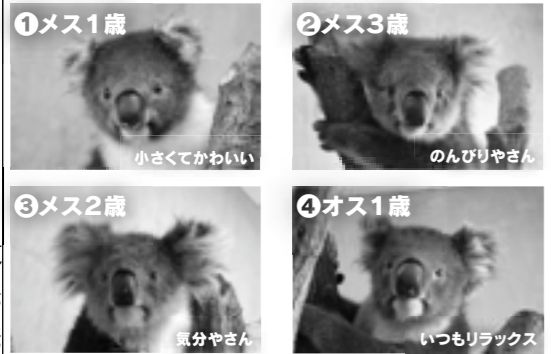


▲コアラ歓迎式典

兵庫県と姉妹提携している西オーストラリア州から3月6日、イングランドの丘にコアラ4頭が贈られ、公開が始まりました。

コアラは1歳8か月～3歳のオス1頭とメス3頭で、同園の飼育数は合計9頭。国内最多のコアラ飼育施設となりました。また、贈られたコアラは人で換算すると10代の年齢で、今後同園での繁殖も期待されています。

式典では、コリン・バーネット西オーストラリア州首相が、「30年間長く良好な関係が続いています。コアラは友好関係の象徴的存在。州の子どもたち全てからのギフトです」と話しました。



### コアラ4頭のお名前を募集

応募方法 官製はがきに「①住所②氏名③年齢④電話番号⑤4頭それぞれの愛称⑥愛称を考えた理由」を記入し、商工観光課に郵送※園内でも応募できます ※応募チラシは市ホームページでご覧いただけます(応募は1人1回、各種賞あり) 応募締切 4月30日(土)当日消印有効 商工観光課 ☎37-3012 〒656-0332 南あわじ市湊90-1

## 義援金箱を設置

広がる支援の輪



▲市内16か所に設置された義援金箱

市と社会福祉協議会では、東日本大震災で甚大な被害を受けた地域に義援金を送るため、市内16か所に義援金箱を設置しています。すべての義援金は被災者の生活復旧や復興支援のため、被災地へ送金されます。ご協力をお願いします。

▼設置場所 ①市役所(12か所) ②各庁舎、支所、出張所、連絡所、南淡公民館、③社会福祉協議会(4か所) ④各支部 ▼義援金 3月22日現在、総額で507万9099円集まっています

## 寄附金

市の福祉のために使つてほしいと次の方々から寄附がありました。 ▼柳福良むつみ会 6万73円 ▼福良不動講代表・内海寛信(信太郎)さん 12万円

### 強固な行財政基盤づくりへの挑戦

行財政改革を着実に推進してまいりました。行革を進めながらの基本的な事業の実施は苦難の連続でしたが、平成23年度予算の収支均衡が図られ、実質公債費比率も減少に転じたのは市民の皆さまのご理解とご協力の賜です。しかし、まだまだ道半ばです。人口減少・超高齢社会に突入し、産業の低迷や将来不安が増幅しています。市民ニーズの多様化、数多くの重要課題、厳しい財政状況など、一つひとつを着実に丁寧な解決するために、市民参加型によるまちづくりを積極的に進めてまいります。強固な行財政基盤を創りあげ、第2次行財政改革大綱に基づき行財政改革を遂行するとともに、新庁舎建設による効率的な行政経営の促進及び公用・公共用施設の整理統合廃止の具体化を検討します。

平成23年度予算の編成にあたっては、膨大な地域からの要望や事務事業など、全てを予算化することが困難ななか、私たち世代に課せられた行財政改革に視点を置き、事業の緊急性と優先順位を精査し、財源の効率的かつ効果的配分に努め、市の将来への布石となる確かな事業展開が図られるよう、予算を編成いたしました。

## 教育長と委員

任期満了に伴い、塚本圭右教育長が3月30日付で退任され、次の方が教育長に選任されました。

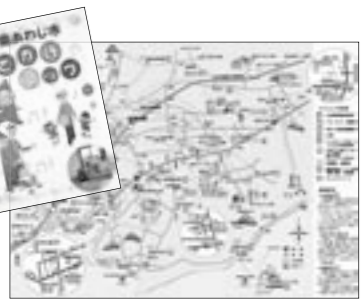


▲任期は3月31日～平成27年3月30日

教育長 岡田昌史(松帆) ▼経歴 旧西淡町総務民生担当理事、南あわじ市財務部長、南あわじ市財務部長 辻 明(湊) 坂本安弘(八木) 磯辺正和(灘)

## 親子の外出支援

親子の外出支援



▲おでかけマップはA4版カラーの二つ折りで1,000部作成しました